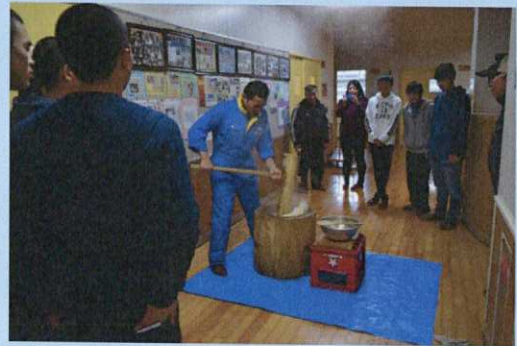


地域的なとり組みにする

町内一円でのプログラム・・・町の歴史や文化を学ぶ事も
受け入れは出来ないが協力はできる
受入れ農家の負担軽減・・・受入れ農家の拡大



餅つきの体験と試食



アン餅
づくりの体験

お雑煮が
出来上がりました



受入れ農家や地域の 人を含めての交流



酪農の座学も

町や酪農の歴史や文化などを紹介



新規就農の経験を語る人

受け入れ農家との
お別れセレモニー



最後のお別れ記念撮影



わずか2泊3日で...

涙、なみ
だ...



こういう光景を見ると
受け入れ農家も関係者も
受け入れて良かった!!と...

そして、お別れ



受入れ農家の皆さんの反省会から～

ご家族の皆さんの理解
住宅環境と地域の協力
特に奥さんの負担軽減
酪農体験だけが体験ではない
「地域ぐるみ」なプログラムを組む
関係者の皆様のご支援、協力

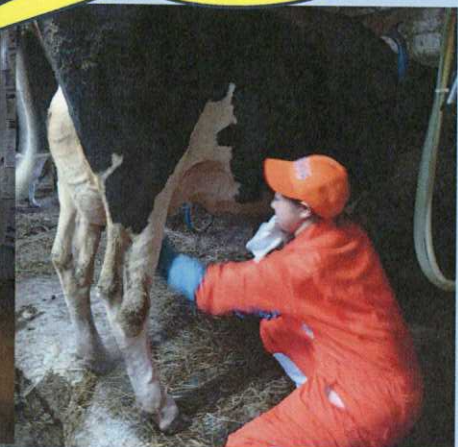


昨年2泊3日で
酪農体験にやって来た松本さん

「チョット癖のある人だなあ～」との印象が



この人



酪農経営を卒業した私の所に 今年もやってきた松本さん 20日間の滞在予定

酪農体験ばかりが体験ではない
苦勞話、文化や歴史、町の様子

ファンづくり ～？

この人



地域の協力を得て酪農体験

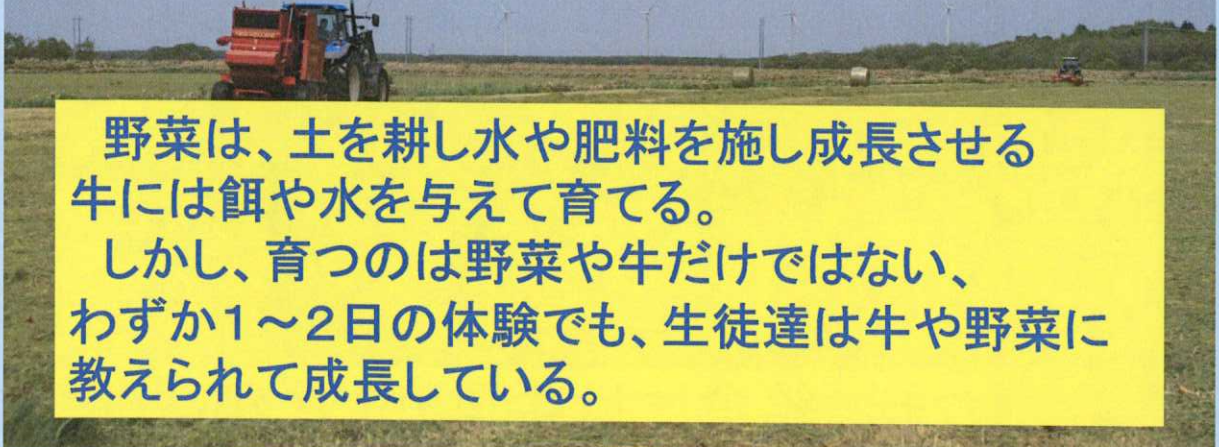
酪農体験は出来るが宿泊は出来ない

高校への出前授業で
体験談語る



10日間送迎して酪農体験

農業・・・それは・・・
「命を育む産業だ」と言われている



野菜は、土を耕し水や肥料を施し成長させる
牛には餌や水を与えて育てる。

しかし、育つのは野菜や牛だけではない、
わずか1～2日の体験でも、生徒達は牛や野菜に
教えられて成長している。

昔、農業は3Kと言われていた時代があった
きつい、きたない、きけん

しばらくして、新3Kと言われるようになった
カッコよい、感動がある、かせげる

そして、今の時代、新5Kと言われている
環境、観光、教育、健康、休息

体験者に必ず語る言葉

牛乳を飲んだ数

小中学校に登校した日数

$$208 \times 6 + 200 \times 3 = 1848$$

なぜ、給食には牛乳がつくか



北海道教育大学の学生



学生の1泊2日の酪農体験

彼女の告白



思い出のメッセージ

わずか10日間の酪農体験で
感謝の気持ち、食べることの大切さ
感じとってくれた奈良県ちゃん(1

9歳)

放牧の牛は、草を食べていたり、横になって休んでいる。牛達を遠くから眺め、最高の風景だと何度も思いました。自然の牛の動物は本当に素敵です。
牛舎の中では牛一頭一頭の違いを見分けるのが楽しかった。顔も、模様も、性格も、皆んな一頭一頭違い。匂いも、声も大きさも違いました。
みんな牛達が牛乳を出してくれたり、肉になつたりするんですね。少し複雑な気持ちになりましたが、牛を育てる農家の人々、精一杯生きてくれた牛達に感謝する事が、とて大層大切な事だ、分る気がします。
感謝の気持ちがないと、食べ物は美味しく感じません。

自由に記入してください。

書いてその子供達にお返し
がどうですか。

、さようならは言いません。

また来ます。

まので、よろしくお願ひ

みなさんも元気で



幼稚園も学校にも行けなかった彼女が

最後になりましたが、小川さんご家族には本当にお世話になりました。

農村での体験は若者達に
何をもたらしたか？

人生の学び



千葉県の染谷くん



茨城県の内藤くん

大阪の友紀子さん



神奈川県の大池くん





こうした取り組みが
農村、漁村へのファンづくり、地域の
活性化になるのではないのでしょうか～

受け入れ農家の確保こそが第1の課題
いたど軽い気持ちで受け入れてみる

だから

牧場は学校だ

まさしく
牧場には生きた教材が沢山ある

こんな素晴らしい農村へ
是非とも地域ぐるみで教育旅行生を
呼ぼうではありませんか！！

完

新しい出会いこそが
私達に沢山の元気を与えてくれます